

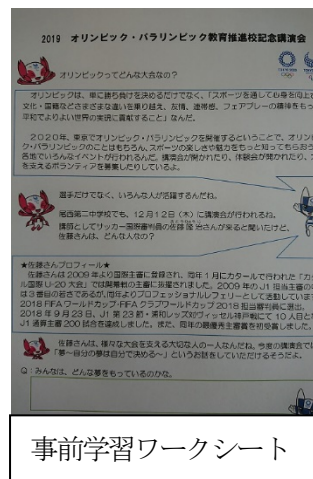
2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

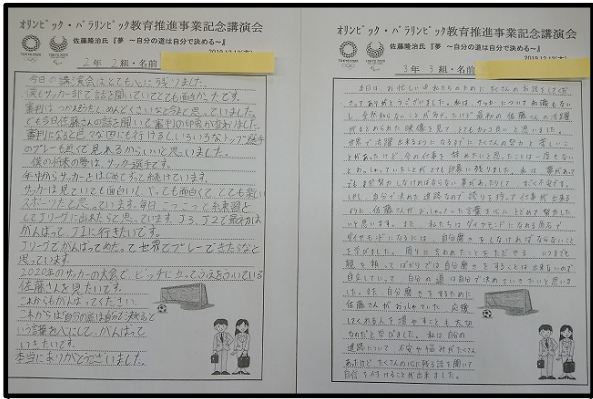
- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【一宮市立尾西第二中学校】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	一宮市立尾西第二中学校 全校生徒322名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（学活・道徳） ② 行事名（講演会） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・オリンピックの精神を知る ・サッカー国際審判員である佐藤隆治氏の講演を通して、夢をあきらめず自分の可能性を信じて努力することの大切さや、生涯にわたってスポーツを楽しむ心をはぐくむ
5 取組内容	1 事前指導 ① オリンピックの精神に触れる（学活） オリンピックの精神「スポーツを通して心身を向上させ文化・国籍などさまざまな違いを乗り越え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって、平和でよりよい世界の実現に貢献すること」（東京オリンピック組織委員会HPより）を知ること ② 自分の夢について考える（道徳） 自分の将来や夢について考える。 2 佐藤隆治氏（愛知県一宮市出身）の講演 サッカー国際審判員である佐藤隆治氏の講演を通して以下の心をはぐくむきっかけとする。 ・夢をあきらめない心 ・自分の可能性を信じる心 ・フェアプレー、公正公平の精神 ・生涯にわたってスポーツを楽しむ



<p>6 主な成果</p>	<p>【事前学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックには、様々な思いが込められた大会であることに気付くことができた。 ・講演会前に、改めて自分の夢や将来について考えることができた。 <p>【講演会（生徒の感想より）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手だけでなく、審判などいろいろな立場の人が存在することによって、試合が成り立つことに気付くことができた。 ・スポーツそのものにあまり興味がなかったが、サッカーやオリンピック・パラリンピックに興味を持つようになった。 ・オリンピック・パラリンピックを見てみたくなった。 ・夢や夢をかなえるための努力の大切さを学んだ。 ・自分の道は自分自身で決めなくてはならない。「自分磨き」を続けることが大切だと学んだ。 ・スポーツは国境や言葉の壁を越えて、いろんな人とつながれることを学んだ。私もいろいろチャレンジしたい。
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一宮市出身で世界の第一線で活躍する人がいることを知ることで、親しみを覚えるとともに、誇りを持たせることができた。 ・選手ではなく、審判員として活躍する佐藤隆治氏の話聞くことで、スポーツは競技者だけでなく、様々な人々のサポートによって成り立つことに気付かせることができた。 ・世界で活躍する佐藤氏の姿を見て、スポーツを通して世界の人々とつながることができることを感じさせることができた。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会を中心とした活動であったので、体験的な活動を入れるとさらに興味が広がったと思う。 ・今後も興味・関心が継続していくように、オリンピック・パラリンピックに関する学習を、各教科で取り組めると良かった。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックの新聞記事などを使って、心に残ったことを紹介し合う実践をしていきたい。



講演会後の生徒の感想用紙

